



TOPICS

- 新チーム始動！新幹部紹介
- 秋季リーグ戦 結果報告
～神宮大会までの軌跡～
- チャレンジリーグ 結果報告
- 審判講習会
- 野球教室 編集後記



KANSAI UNIV. BASEBALL TEAM

新チーム始動！！

新チームの幹部が以下のように決定しました。

- | | |
|-------|-----------------|
| 主将 | 高橋 佑八(経3・龍谷大平安) |
| 副将 | 太田 健裕(文3・乙訓) |
| 副将 | 山本 隆広(人間3・桜宮) |
| 主務 | 中山 司(文3・関大北陽) |
| 学生コーチ | 藤井 滉太(社3・須磨学園) |
| 学生コーチ | 平内 翔太(人間3・社) |
| 学生コーチ | 松本 歓喜(シス理2・武田) |



左から松本歓、平内、中山、高橋佑、山本、太田、藤井

11月25日(土)、全体ミーティングにて新幹部が発表されました。主将の高橋佑をはじめ、この代は全国の舞台を経験している者が数多くおり、全国で負ける悔しさを知っています。全体ミーティングでは「まず全国で1勝しよう」という言葉が数多く出ていました。神宮大会での敗戦の悔しさを忘れず、主将・高橋佑を筆頭に、4年生が果たせなかった全国での1勝、そして「全国制覇」という目標に向かって頑張っていきますので、新体制となった関大野球部をよろしくお願ひします。



主将・高橋佑八

最上級生として、自覚・責任・覚悟を持ちチームを引っ張っていきます。まずは全国で1勝し、全国制覇を最終目標に掲げチーム全員で精進していきたいと思ひます。強い組織を作るためにも、自分の行動・考え方を見つめ直しチームをいい方向に導きたいと思ひます。ご声援よろしくお願ひします。



学生コーチ・藤井滉太

秋の神宮大会では、1回戦負けという悔しい思いをしました。全国の舞台で勝利をあげること、そして全国制覇に向け、覚悟を持って、新チームが始動しています。何ができるのか、どんな役割を果たすべきか考え、最高のチームを作り上げられるよう精進して参りますので応援よろしくお願ひします。

～神宮大会までの軌跡～

秋季リーグ戦完全優勝

昨年の秋に続き、2年連続となる秋季リーグ戦優勝、そして「完全優勝」を成し遂げました！リーグ戦初戦の対京都大学1回戦で敗戦するも、その後主将・久米(人間4・大阪桐蔭)を中心にチームが結束。投げては阪本大(経4・履正社)が新リーグ発足後新記録となる62イニング連続無失点、山本も対近畿大学2回戦で完全試合を成し遂げ優勝に大きく貢献しました！



関西地区代表決定戦 ～2年連続6度目の神宮へ～

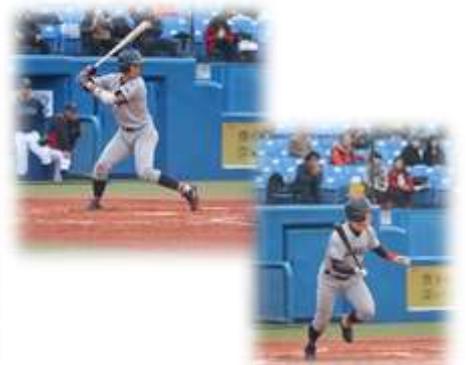
神宮大会出場をかけた関西地区代表決定戦！第一代表決定戦では大阪商業大学に惜しくも敗戦。しかし第二代表をかけた大阪市立大学戦ではチーム一丸となり、2-0で勝利！明治神宮野球大会への出場を決めました！他連盟との試合のため、相手チームのデータが少ない中、大西(法4・松坂)、鷹尾(法4・関大一)、松原(人間4・関大一)、吉村(総情4・高取国際)の4名が偵察班として相手チームを分析、チームの勝利に貢献してくれました！



左から松原、大西、鷹尾、吉村

第48回明治神宮野球大会

2年連続となった明治神宮野球大会。相手は3年前と同じ創価大学。惜しくも勝利とはなりませんでしたが、当日は多くの方々に球場に来ていただきました。皆様のおかげで関大野球部らしい活気のあるスタンドを作ることが出来ました。再び神宮の舞台に立ち、次こそはまず神宮の舞台で1勝、そして「全国制覇」を目指し頑張っていきますので、今後も関大野球部をよろしく願い致します。



～チャレンジリーグ～

今季から、昨季までの新人戦に代わるものとして、チャレンジリーグが導入されました。これは、関西学生野球連盟に所属する各大学が、1・2年生主体のチームを編成し、総当たり方式で行うリーグ戦のことで、各大学のグラウンドや豊中ローズ球場を使用して行われました。

近年、部員数の増加に伴い、各選手の出場機会が減少している現状において、選手がより実戦の経験を積める場を提供できないか、という思いから、新たな試みとして始めました。従来のトーナメント方式による新人戦では、最大でも3試合のみでしたが、チャレンジリーグでは、5試合あり、各選手がより多くの出場機会を得ることができるようになりました。

練習で結果を残した選手がチャレンジリーグへの出場機会を得ることができました。普段なかなか試合に出場することができない選手でも、練習でアピールすることができれば、チャレンジリーグに出場できるとあって、練習にも自然と熱が入るようになりました。



チャレンジリーグ
主将 福重 大和
(社2・戸畑)

今季から新人戦が総当たり方式になり、より本来のリーグ戦に近い形で実戦を戦うことができました。チャレンジリーグでは苦しい戦いが続きましたが、これからの関大野球部を担う自分達がこの結果でいいのかと主将を務めている自分としては危機感を感じました。個人としても来季のリーグ戦メンバー入り、そして試合で活躍する目標を実現するには程遠い結果しか残せていないのでとても悔しいです。しかし、リーグ戦を戦うということは、目の前の試合に全力を注ぐことはもちろん、試合が終われば次の試合に向けて気持ちを切り替えるということも大事になってくると思うので、こういったことを学べるという点ではとても良い経験ができたと思います。このチャレンジリーグでの経験を活かしリーグ戦メンバーに入りたいと出場した者全員が思っています。目標を達成できるよう練習に励みますので、今後とも応援のほどよろしくお願いします。

前半はなかなか思うような結果が出せなかった今回のチャレンジリーグでしたが、試合を重ねていくにつれて、粘り強いチームへと変わっていきました。惜しくも2位に終わってしまいましたが、このチャレンジリーグでの経験は、貴重なものとなったのではないのでしょうか。チャレンジリーグを戦った選手が一人でも多くリーグ戦メンバーに入ることを期待しています！

～審判講習会～

学生初参加!

8月27日(日)に、KAISERS BASEBALL FIELD(千里山グラウンド)にて審判講習会が行われました。例年、この講習会は関西学生野球連盟審判委員の技術向上を目的に行われてきました。関西学生野球連盟の審判委員は、昭和57年に連盟が発足してから、各校のOBによる審判委員で、運営してきました。しかし、連盟創設35年の経過とともに、人員不足により、今後のリーグ戦運営に支障をきたすことが懸念されています。社会人になっても永く野球に携われる人材育成を目指し、今回の講習会から初めて学生にも参加してもらい、未来の審判委員を担う人材を育む取り組みを始めました!

そこで今回、初の学生参加者になった選手たちに講習会の感想を聞きました!



藤木 康太郎
社2・須磨学園

私は元々、審判という立場に興味を持っており、今回審判講習会に参加しようと思いました。講習会に参加させていただき、今までよりさらに審判という立場から野球を見てみたいと思うようになりました。審判は一つのミスが試合の結果を左右することがあり、選手と違いそのミスを取り返すことができないというところに審判の難しさ、そしてやりがいがあるのだと思います。今回の講習会を通していかに審判の方々が練習から全力でジャッジしてくださっているのかということが分かったので、私たち選手も全力でプレーすることが大切であると思いました。



佐園 満活
社1・大阪学芸

今回講習会に参加して、審判の方々の大変さ、存在の大切さを改めて感じました。クロスプレーや触塁の確認の判断を4人で行わなければならないので、審判にも広い視野が必要なのだと感じました。審判から見る野球と選手から見る野球、様々な見方があるのだとの気づきもあり、この講習会で審判の野球の見方に触れられた事はいい経験になりました。



北角 航大
人間1・槻の木

今回の講習会の経験を踏まえ、審判の目線から野球を見たことで、細かなルールも知ることができ、実践においてもこの経験は活かせると思いました。また今回のことは、将来野球を指導する際にも役立てていきたいと思いました。

今回、初の試みとして学生に講習会に参加してもらいました。いつもは選手としてグラウンドでプレーをする側にいる選手達にとって審判の方々の側立って野球に触れたことで、野球の様々な携わり方を改めて感じ、数ある役割の中での難しさ、奥深さというものを知るとても貴重な経験になったようです。今回の講習会での収穫を是非とも自身の今後の取り組みの糧として行って欲しいと思います!

～野球教室～



～山手小学校野球教室～

9月3日(日)に山手小学校にて野球教室を行いました。野球部から四十田(商4・富山商)、占部(経4・広陵)、永谷(経4・東洋大姫路)、山下(人間4・甲南)の4名が参加しました。普段、接することのない小学生と野球をすることで選手たちにとっても有意義な時間となりました！



～小中体験入部～

12月3日(日)に近隣の小中学生を対象に体験入部を行いました。野球部からは主将の高橋佑、副将の太田をはじめとする約20名が参加しました。今後も積極的に野球教室を行い、地域から応援されるような野球部を目指します！

4年生のご父母の皆様へ

4年生のご父母の皆様、4年間にわたり、温かいご声援をいただき誠にありがとうございました。この学年は3度の神宮大会出場、そして秋季リーグ戦では完全優勝を成し遂げるなど輝かしい実績を残しました。部員一人ひとりがそれぞれの立場で貢献する意識が高く、結束力が本当に強い学年であったと感じました。このような4年生の力と球場に来てくださる皆様のおかげで、今回の秋季リーグ戦完全優勝、神宮大会出場へ繋がったと実感しています。4年生が作り上げた、グラウンドにいる選手とスタンドが一体となり戦える野球部を継承し、今後もより多くの方々に応援に来ていただける魅力のあるチームを目指して参ります。改めて、4年間本当にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

マネージャー 大島 領太郎



編集後記

今回の奪首×Dash! 第30号はいかがでしたか？今回は試合結果に加えて、審判講習会についてお伝えしました。新チームが始動し、年が明けると冬季合宿、そして春季キャンプが待っています。まずは春季リーグ戦での優勝を目標に冬季合宿、春季キャンプもチーム一丸となり、乗り越えていきたいと思えます。春季キャンプなどの情報をブログ等に随時更新致しますので、ぜひご覧ください！

Facebook、ホームページ、ブログもぜひご覧ください！

左からマネージャー 尾端翔(法1・三田学園)、橋本凌太(政策1・大谷)

